

HERO's Interview

002

MASAHIRO YASU

株式会社ST / 代表取締役

【Hero's PROFILE】

京都大学工学部電気電子工学科にて核融合の研究を専攻。2011年株式会社リクルートに入社。転職メディアの商品企画やHRTech領域の新規事業開発をはじめ、自然言語解析や機械学習領域の事業開発を担当する。2017年9月ブロックチェーンを用いたALISを立ち上げるため国内初の規模でICOを実施し、4.3億円を調達する。現在は自身の株式会社S Tと共に複数企業の役員などを務める。



「英語力不足＝経営の傾き」 海外主導のブロックチェーン業界で戦うために

Q. まず、どんなお仕事をされているか教えてください！

暗号資産・NF T・ブロックチェーンを活用し社会のパラダイムシフトを起こす現在は自身の会社で大企業向けのブロックチェーン活用や新規事業開発のコンサルティングを行いながら、グローバルスタートアップの役員なども勤めております。この領域は残念ながら海外が主

導権を握っておりまして日本はかなり遅れている状況であるため、個人としても海外の人とのやりとりや英語ソースからの情報収集を日常的にやっているような仕事です。

Q. ビジネスをしていくにあたっての英語力の必要性和、学ぼうと思ったきっかけとは？

ブロックチェーン 仮想通貨業界は海外が主導。まず、この業界において英語は必須スキルです。海外からどん欲に学んで国内に活かさなきゃいけないし、そもそも海外で事業を展開するということを考えなくてはならないので。起業してから、最初のうちはオンラインコミュニケーションがメインだったので、それこそGoogle翻訳を使っていました。でも、昨年秋にサービス内容や会社自体がマスコミに大きく取り上げられて、広く注目を得られるようになった時に、直接会って英語が喋れないと信用されないと思ったことがきっかけでした。英語力を高めることで、海外から国内に来るプレイヤーを増やして、国内のマーケットを刺激したり、自分たちも積極的に海外へ出て、自分たちのサービスを利用してくれる層をもっと広げたりしたいと考えています。



Q. 安さんの英語力って…？

いわゆる典型的な英語のできない日本人でした（笑）
全然喋れないです。前提として。半年ちょっと勉強をして、今は意思疎通ができるようになったくらいですが、英語力には、ものすごく危機感を感じているんです。

Q. 英語の必要性を感じても踏み出さない人が圧倒的に多い中、踏み出した理由は？

英語力不足で経営が傾いたら大問題 英語ができないことは経営者として無責任だ。僕はサラリーマンから経営者になったので、経営者になって全ての責任を負う立場になった時に、よりすべての出来事に真摯にならなきゃいけないと強く思ったんです。英語に対しても同じで、「喋れたらいいな」じゃなくて、「喋れないことで経営が傾いたら経営者として無責任だ」と。日本全体が国家的な英語力不足によって滅びかねない実際に海外に出るようになって、周りにグローバルモンスターしかいないと思ったんです。英語力さえあれば、圧倒的な情報量を獲得できて、ビジネスチャンスも山程ある。それなのに、そもそも全然海外に出て行っている日本人がいないなど。出ても英語力不足によってコミュニケーションが取れない。だから情報を持って帰ってくるのができないし、コネクションも作ることができない。それによって、国家的に負けているんじゃないか、滅びちゃうんじゃないか、ってことを強く感じたんです。幕末じゃないです

けど（笑）黒船やってきた。どうしよう英語喋れません。むしろ鎖国してた。っていう。しかも、たちが悪いのが、今は黒船と違って分かりにくい。黒船なんてもんじゃない”どでかい危機”が、英語力不足によって日本に迫っていると思っています。



Q. CFに出会うまでの英語の勉強方法とは？

半年間で2種類のコーチング式英会話へ。大学受験後、ほとんど英語は勉強していなかったんです。社会人2年目の時に血迷ってMBAを取ろうとして、ちょっとだけTOEFL対策しようかと思ったんですけど、すぐ挫折して（笑）2017年12月から、CFに出会うまで、半年間で2種類のコーチング式英会話に行きました。個人に合わせて、自学自習のプランを組んで、伴走してくれるもので。具体的には、週1回、面談時間を持ちながら、「1週間でこれをやりなさい」という課題が課されて、それをチェックしてもらうものでした。ただ、個人に合わせたプランニングと言いながらも、「いいから、プラダを着た悪魔を使ってシャドーイングしましょう」みたいな。僕の仕事のことや、具体的な課

題を話しても、「うんうん、いいからプラダを着た悪魔でやりましょう」と。（笑）

「基本を鍛えることは大事だから、映画を通じて英語を学ぶのはとてもいい」という話だったんですが、やってみてやっぱりどうしても納得しきれないな・・・と。

あと僕は出された課題に対して、どうやら飲み込みやスピードが速かったようで。先生が「こんなにすぐできるようになる人は見たことない」って、褒めてくれることがあったんですけど、別に褒められたくて英語をやっているわけではないので。そもそも、コーチングしてくれたカリキュラム自体が、自分自身のレベルにあっていないんじゃないかと気付いたんです。

Q. CFでの英語トレーニングは、これまでと何が違うんでしょうか？

1番違うのはコーチングスタイル。今まで受けてきたコーチング英語は、到達点を設定して、そこに到達したかどうかで、NO だったら、それがなぜ NO だったのか？を繰り返し詰めていくスタイルでした。でも、CF の場合はまず「そもそも英語力をつけて、何をしたかったんだっけ？」という、目的を意識しながらコーチングしてくれる。他には「1週間やって何を得た？」「どんな気

付きがある？」など、実績から入るのではなくて、内省から入って実績を見るので、学べるものが違います。その質問をされるって分かっているからこそ、「今週自分は何を学んだっけ？」っていうことを、聞かれる前に、自ら考える。自然と意識しながら過ごすようになる。要するに、CF を離れても自己成長できるスタイルを確立できるなと思いました。

Q. 具体的なカリキュラム内容としては、何をしていますか？

基礎力強化から具体的なビジネスに直結する環境づくりまで基礎力強化では、日本語と英語の文章が載った教科書のシャドーイングと、日本語から英語に翻訳するトレーニングをしています。他にも発音の矯正には力を入れていて、ネイティブの先生の元で発音だけのレッスンをしてもらっていますね。

それから、僕がビジネスの中で、目下課題だと思う英語関連のことを解決してもらってます。

例えば、技術提携をする上で英語に困っている場合は、ブロックチェーン業界の技術も分かっていて、更に英語が堪能なエンジニアを紹介してくれて。学ぶ環境を用意してくれたりすることもありますね。



Q. 安さんの日常生活での英語学習のスタイルを教えてください！

1日2時間は最低確保。基礎力強化の時期は、仕事が忙しくて時間がないので、通勤時間に習慣的に毎日やっていました。家を出て、電車に乗って、会社に着くまで、人目もはばからず声を出してやって。往復で1時間10分くらいあるので、残り50

分は家に帰ってから何とかやるといった具合ですね。今も英語を勉強する時間帯は変わっていません。毎日2時間やっても年間730時間。これでも、めちゃくちゃ少ないんですけどね。

Q. 英語学習をする上で大切にしていることは？

終わりがいいからこそ、自分自身の納得感が重要。最初のうちに量で自信を付けたら、僕の場合は、後は自分の納得感だと思っているんです。相手から見た英語力がどうかなんてどうでもよくて、自分が納得できる英語が喋れているか。例えば、「ネ

イティブ並みの発音をしたい」と思ったとして、もし、詰められなかったら詰められなかったでいいですよ。詰められなかったことよりも、詰められないことが分かって、それでもどこまでいけたのかを自分が納得できたことが重要だと思っています。

Q. 英語力が上がったからこそのおいしい話とは

確実にいい話が舞い込んでくるようになってきている。既に、海外の有名なプレイヤーが事業提携の話を持ち掛けてくれたり、海外での大きなイベントに是非登壇してくれないかというチャンス

が入ってきたりしています。情報の獲得量も違う。日本人から聞く話と、海外の人から聞く話は全然違うなと実感しています。

Q. 英語学習を始めようか悩んでいる方にひと言

誰に英語力の向上を見守ってもらうのか。日本人って基本的に優秀だと思っている。頭も切れるし、考えも深いし、哲学的なものを持っていると思うんです。英語ができる人たちがもっと増えて、外に出るようになると、海外で日本のコミュニティができて、情報共有しながら相互成長できるんじゃないかと思っています。あとは、「この人のことは裏切りたくないな」という、尊敬できる先生とかコーチに出会えることが重要で。僕はCFでようやく出会えたと思っています。だからこそ、自分の周りで、将来も一緒に戦っていきたいと思うような経営者仲間に、今後も紹介していきますね。



安さん、貴重な時間とお話をありがとうございました！

企画：高橋佑樹
インタビュー：大河原あゆみ